



南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成27年9月 1日

校長 福田 俊彦

出会いを大切に

校長 福田 俊彦

水泳指導、学力補充教室への参加、校庭開放、図書館開放などの利用、地域での生活では、多くの方々の支えのもと、子供たちは上手に生活を創っていたのではないかと思います。また、学校だより「夏休み号」で知らせた「自分の命は自分で守る」行動もできていたようです。そこには、ご家庭や地域の方々が南町小の子供たちをみんなの子供として見守っていただけたことが大きな力となっていると考えています。

さて、本日、子供たちに伝えたことをお知らせいたします。

「みなさんは、この夏休みにいろいろな出会いがあったことでしょうか。人との出会い、歴史との出会い、自然、文化等との出会い。その出会いをもう一度思い出してみましょ。これからの生活に活かせることはありませんか。校長先生の出会いのひとつを紹介します。それは、ある高校野球に力を注いだ選手の言葉です。長い間、好きな野球をさせてもらったことへの感謝。たくさんの人に支えてもらったことへの感謝。そして、そのことを思い、人の役に立つ仕事に就きたいという言葉です。この選手の言葉には、たくさんの教えがあります。その教えは、自分を見直す場になります。校長先生は、この高校生の言葉を心の中にしまっておこうと思います。みなさんにも心にしまっておきたい出会いがあるでしょう。大切な出会いをこれからの生活に活かしていきましょう。」

子供たちはこれからも多様な出会いを積み重ねていきます。その中には、自分を心地よくしてくれること、仲間の優しさに触れること、しなければならぬことをがんばること、がんばってもうまくいかないこと、がまんすることなどがあるでしょう。どのような出会いにも、子供を成長させる価値があります。出会いを価値付けることは、出会いを自分の生き方に活かすことができる第一歩と考えます。

9月からは、日々の学校生活を基盤として創り上げる連合水泳記録会（6年）、全校で取り組む運動会や学芸会、社会科見学（3年～6年）、武石移動教室（5年）などがあります。どの活動にも出会いがあり、いくつもの出会いが重なり合って活動が創り上げられていきます。出会いが自分を見つめることとなり、その出会いが自分の力を高め、自信となっていくことが期待できます。

今後とも、子供たちが出会いを通して成長していく姿を見守っていただけますようお願いをいたします。